

生配信のトラブル回避について

ネットストーカー対策 生配信編1.3

2019/11/26

生配信のトラブル回避について

・ネットストーカー

■ ネットストーカーとは

サイバーストーカー(英: Cyberstalker)またはネットストーカーは、インターネットを利用して特定の人物にしつこく付きまとうストーカーの総称。彼らの行為は、サイバーストッキング、ネットストッキングと呼ばれ、サイバー犯罪の一種であるとされる。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



生配信のトラブル回避について

・ネットストーカー

■ストーカー規制法で規制される行為

- ・つきまといや待ち伏せ、押しかけ行為（ストーカー規制法2条1項1号）
 - ・被害者の行動を監視していることを告げる行為（同2号）
 - ・被害者との面会や交際を要求する行為、プレゼントを受け取るよう要求する行為（同3号）
 - ・乱暴な言動（同4号）
 - ・無言電話、しつこい電話やFAX送信、メール送信（同5号）
 - ・汚物などの送付（同6号）
 - ・誹謗中傷行為（同7号）
 - ・性的しゅう恥心を害する行為（同8号）
-



生配信のトラブル回避について

・ネットストーカー

■ストーカー規制法 改訂での変更点

- ▶ Eメールだけではなく**LINEやSNSブログなどへの書き込みも対象化**
 - ▶ 罰則強化：1年以下の懲役または100万円以下の罰金
 - ▶ 禁止命令に従わなかった場合：2年以下の懲役または200万円以下の罰金
 - ▶ **非親告罪化**（告訴が無くても加害者に禁止命令や処罰をできる）
 - ▶ **ストーカー行為をする恐れがある人物と知りながら、被害者の住所や氏名などの情報を提供することを禁止することも明記。**
-



生配信のトラブル回避について

・ネットストーカー

■ ネットストーカーと判断出来る行為

- ▶ **拒否してもSNS等への書き込みやDMをやめない**
一度拒否したにもかかわらずブロック等をされてもアカウントを変える等をしてしつこく送り続ける行為。
また、他フォロワーを通して接触を図ろうとする行為
 - ▶ **なりすましや誹謗中傷**
他人になりすまして、相手に悪影響が出るような書き込みをおこなう。
他人を陥れるツイート等をおこなう。
-



生配信のトラブル回避について

・ネットストーカー

■ ネットストーカー防止対策

- ▶ **個人情報やそれにつながる情報を発信しない**
氏名、住所などはもちろん、居場所や個人が特定できるような写真や情報の発信をしない。
- ▶ **問題行動のある人物を見つけたらできるだけ早く遠ざかる**
問題行動のある人物をできるだけ早く見つけ、執着される前に遠ざかる。
SNSのブロックや生配信のコメントブロック機能等をおこなう。
- ▶ **問題行動をおこす人物を誘引しない**
 - ・SNSサイトで病みツイートなどをしない。
(問題行動をおこす人物は、相手の弱ったところを狙ってきます。)
 - ・生配信のイベントなどに参加している場合に「助けてください」「ピンチ」「このイベに一生をかけています」等の言葉を使用しない。
(問題行動をおこす人物は、相手の弱みにつけ込もうとします。)

生配信のトラブル回避について

・問題行動をおこす人の特徴（1）

■自分を配信者より上位に置こうとする

- ▶ **配信者を執拗に子供扱いする**
自分より下位にポジショニングし（自分を親等のポジションに固定しようとする）、その関係を前提にコメント等をおこなう。
 - ▶ **配信者を「無知」だと指摘したがる**
漢字・歴史・地理等に関する事をコメントに混ぜたり時にはクイズを出したりして、自分を上位に置こうとする。
 - ・リスナー側はいくらでも漢字変換機能で難しい漢字を書くことができます。
 - ・クイズを出す方は自分の知識の範囲から出題できます。
 - ▶ **常に上から目線**
「〇〇のご褒美」等を多用する。
「〇〇だったから応援してやっている」
 - ▶ **他人の間違いは指摘するが自分の間違いは認めない**
配信者や他リスナーの間違いには敏感で大いに主張するが、自分への間違い等の指摘は些細なことでも認めない。
 - ▶ **自分を特別だと思い込んでいる、もしくは主張する**
音楽や演劇など専門的な事へダメ出しやアドバイスなどを平気で行う。
超常的な力を持っていると主張する。
-



生配信のトラブル回避について

・問題行動をおこす人の特徴（2）

- ▶ 他のユーザー（リスナー）に対する配慮ができない
- ▶ 他のユーザー（リスナー）とのコミュニケーションが難しい
- ▶ 執拗に個人情報聞き出そうとする
- ▶ 感情の起伏が激しく他者を攻撃する
- ▶ 発言に虚言が多い
- ▶ 言葉遣いがおかしい
- ▶ 常に上から目線の発言が多い



生配信のトラブル回避について

・問題行動をおこす人への対処方法

▶ 配信者の場合

- ・早期に発見しできるだけ距離を置く。
- ・DMへの返信や特別扱いへの要求等に対しては決して感情的にならず、冷静に拒否を告げる。
- ・問題行動がある場合は静かにブロック機能や通報機能などを使う。(注意等はかえって状況を悪化させる)

▶ リスナーの場合

- ・配信中などに問題発言やつきまとい発言があった場合には、冗談コメなどで、コメを流してしまう。それを感じた他リスナーはそれに冗談コメ、突っ込みコメなどで協力をする。
 - ・問題発言などに対して憤りを感じたとしても、決して感情的なコメ等を行わず、しずかにブロック機能や通報機能を使用する。「通報しました」等のコメは絶対におこなわない。
-



生配信のトラブル回避について

・ネットストーカー

■ ネットストーカー対策

- ▶ **書き込みの写メ等の証拠や日時を記したメモをとっておく**
後々、警察などへ相談するためにも記録や証拠を保存しておく。
 - ▶ **実害を受けそうな(うけた)場合は警察などに相談する**
警察や弁護士を通じてストーカー規制法による対応、接近禁止の仮処分・権利侵害(名誉毀損等)への対応などを求める。
-



生配信のトラブル回避について

・ネットストーカー

防犯の心構え

- ▶ ストーカーは、電話、ファクシミリ、電子メール等を使って執拗にいやがらせ行為をします。
- ▶ 余分な会話はせず、相手に「電話をかけてこないで下さい。」「警察に訴えます。」など、毅然とした態度で拒絶の意思を伝える。
- ▶ 相手の電話番号や非通知での電話は、着信拒否設定にする。
- ▶ 日時・内容等を記録・保存をしておく。(着信記録の保存、着信画面の写真撮影等。)
- ▶ 電話会社に相談をする。(様々な対応策を教えてください。)
- ▶ ナンバー・ディスプレイ機能付き電話を設置する。
- ▶ 電話番号・メールアドレスを変更する。
- ▶ SNS等を利用する際は、個人情報の取扱い等に十分注意する。